

B-2 評価の工夫

- ・ 一時間の中で、二箇所の評価場面を設けた。1つは活動中の行動観察、もう1つは振り返りカードを使っての自己評価である。行動観察だけでは見落としてしまう部分を、自己評価という観点で確認した。
- ・ 振り返りカードには、友だちのよかった意見や行動を書く欄も設けた。これにより、たとえばペア学習での相手の認め合いや他の班のよさをみつけるなど、他者へも目をむけられると考えた。
- ・ できるだけビデオカメラで記録を撮るようにした。授業後にゆっくり振り返って評価できる材料になる。
- ・ 自己評価は、あくまで参考にするにとどめるとともに、自分の授業の反省に使い、次時の授業設計に役立てた。
- ・ 授業中の行動観察は、座席表をもとに評価規準に達しているかいないかを簡単にチェックしていた。規準に達していない児童に関しては、指導案にあるように声かけをしたり、できていることをほめたりと自信をもつよう働きかけ、「楽しく」活動できるようにした。
- ・ 授業後にはアンケートをとり、授業前との意識の違いや活動を楽しくできたかについて聞き、まとめとする。